

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエゾン両国西口		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 16日		2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年 10月 16日		2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人一人に寄り添った支援	少人数でのレッスンだからこそ、お子様の運動面や情緒面など、細やかな変化に気づきながら支援をすることを意識している。また、保護者様のご要望やお子様の課題を交えたレッスンを提供している。	引き続き、お子様が楽しい！と感じてもらえるように、メニューやサポート体制の工夫をしていくとともに、保護者様が安心してレッスンをご覧いただけるよう、安全面にも配慮したレッスンの提供をしていく。
2	幅広い年齢層のスタッフ	ベテランスタッフと若手スタッフのバランスが取れており、毎日のミーティングの中で幅広い視点で意見交換ができている。	全スタッフが、お子様について共通認識が持てるように、毎日のミーティングでの共有はもちろん、普段からお子様についての話し合いを行い、様々な視点から課題解決へ向き合っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の認知度	既存の会員様のご紹介や、相談支援事業所からのご紹介が多いため、児童発達支援事業所をお探しの方に対して事業所自体の認知度は低いと感じる。	区内の園や病院などへ、パンフレットを郵送し、連携を図っていく。また、場合によっては関係機関に出向き、事業所の認知度を高めていく。
2	外部との連携	他事業所等の連携が少ないため、複数の児童発達支援事業所に通われている方の情報に乏しい。	他事業所間で連携が取れるよう、地域の連絡会などに参加し、他事業所の方と交流の機会を作っていく。そして、さらに保護者様のニーズに応じた支援ができるよう努める。
3			